

科目名	実習 I	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ファッションクリエイターコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	300	作成者	江田 泉
【科目の到達目標】 すぐれた衣装、アイデアのあるデザインを表現するためには縫製技術が必要である。 本教科では、様々なアイテムの洋服や衣装を製作するための縫製技術の基礎を学び、修得する。			
【科目の概要】 様々なアイテムの洋服や衣装を製作するための縫製技術を学び、修得する。 トートバッグ(基礎縫い)・スカート・ブラウス・ジャケット・リメイク作品・ 部分縫い(スカート・ブラウス・パッチポケット・箱ポケット・雨蓋ポケットなど)の製作。			
【授業計画】 90分/コマ			
前期		後期	
1・2	用具説明・ミシン・アイロン予習/復習	91～102	リメイク / 上コレ 解体・裁断・縫製
3	本町ツアー動画		
4	トートバッグ 仕様書作成		
5～8	裁断・縫製	103～106	オリジナルジャケット【自分サイズ】 パターン作成
9・10	仕上げ・まとめ 部分縫いスカート【ウール・ロック有り・切麩】		107～110 裁断・トワール両身組み立て・仮縫い
11～18	左脇ファスナー付け・スリットあき作成 割ダーツ・ぐし縫い・奥まつり・千鳥かけ・たてまつり 部分縫い【綿ツイル・ロック無】		111～114 仮縫い 115～118 パターン修正・縫い代付パターン作成
19～24	コンシールファスナー付け・ベンツあき作成 タイトスカート【自分サイズで製作】	119・120	表襟パターン・裏地パターン作成
25・26	採寸・製図・縫製仕様書作成	121・122	裏地・附属類(ポケット・芯地)パターン作成
27・28	カットパターン作成・地直し・通し麩・裁断・標付け	123・124	裁断・芯貼り
29・30	裁断・標付け	125・126	身頃作り・増芯据え
31・32	仮縫い組み立て・仮縫い用ベルト作成	127	縫製(縫製工程表に沿って)
33・34	仮縫い・補正		
35・36	裏地裁断・ベルト布裁断	143	
37～46	縫製(ファスナー付け・スリットあき・ロックなど)	144	釦ホール・釦付け
47・48	仕上げ・まとめ ポケット部分縫いベスト	145	手まつり
49～52	裁断・芯貼り・切麩	146・147	仕上げ・まとめ
53・54	パッチポケット	148	発表
55・56	箱ポケット	149・150	まとめ
57・58	両玉縁雨蓋ポケット		
59～62	各縫目縫製・縫い代パイピング始末(3ツ折り・4ツ折り)		
63・64	釦ホール(手穴かがり/機械ハトメホール・門止め)		
65～68	仕上げ・まとめ ブラウス部分縫い		
69・70	パッチポケット・ダーツ・フラットカラー・袖口カフス付け ブラウス【オリジナルデザインで製作】		
71・72・73	パターン確認・仕様書・地直し・裁断		
74・75	芯貼り・標付け		
76～85	縫製		
86	釦ホール・釦付け		
87～90	仕上げ・まとめ		
【成績評価方法】 課題作品の評価(提出物・リマインドチェック・プレゼンテーションなど) 70 %、 期末試験 30 %			
【教科書・参考書】 上田安子『立体式洋裁』服飾手帖社 改訂版 上田安子『縫い方全書』服飾手帖社 改訂版 『テーラリングテクニック』・『スカート』・『ブラウス』・『ジャケット』上田安子服飾専門学校 最新版 教員作成のオリジナルプリント			
【教材・教具】 ミシンなど縫製機器、洋裁道具一式・製図道具一式			

科目名	パターンメイキングⅠ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ファッションクリエイターコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	180	作成者	大沢 妙

【科目の到達目標】

基本的な立体と平面製図の構造、理論を理解する。
 基本的なパターンメイキングができる。オリジナルデザインの製図に応用できる。

【科目の概要】

洋裁教科書、製図Ⅰ綴り、補助教材、実寸大トワールサンプルによる解説。教員による製図の板書やトワール組立てなどの実演指導をメインとする。基本の実寸製図をトワール組にて検証。サイズ感や形状を把握、応用できるようにする。毎授業の終わりに振り返り時間を設け、習熟度の確認を行う。

【授業計画】 90分/コマ		前期	後期
1・2	道具説明・サイズ、採寸について、スカート構造	61・62	パターン検定 1型製図（もう一型は解説のみ）
3・4	スカート丈の違い、蹴回し、動作の関係（不織布ドレーピング）	63・64	スラックス原型 実寸 リマインド⑥
5・6	スカート原型 実寸、ダーツの説明 リマインド①	65・66	フード付きジャンパー 実寸
7・8	スカートバリエーション 1/2縮図（セミタイト、ペザント	67・68	トワール組（身頃半身、フード両身ピン打ち） リマインド⑦
9・10	フレアSK原型展開、サキュラ、プリーツ）リマインド②	69・70	ワンピース概論 上田原型理論 ウェスト始末6種 1/2縮図
11・12	身頃原型の概論、人体とゆるみの関係について	71・72	後ろ身頃の補正 襟ぐり見返し始末4種 1/2縮図
13・14	身頃原型、立体検証（トワール準備）	73・74	ドレスバリエーション1型 1/2縮図
15・16	〃 （トワール半身ピン打ち）	75・76	ウエスト接ぎワンピース 製図
17・18	カット移動、後肩ダーツの移動 1/2縮図	77・78	〃 地直し・トレース・両身裁断
19・20	袖の概論、身頃との関係性 長袖ストレート作図	79・80	〃 トワール組（ミシン組み立て）
21・22	袖山の理解、立体検証（トワール半身ピン打ち） リマインド③	81・82	〃 トワール組（ミシン組み立て）
23・24	袖のバリエーション 1/2縮図（バフスリーブ、ビショップ）	83・84	〃 トワールチェック
25・26	襟のバリエーション 1/2縮図（スタンド、タテ、シャツ、フラット）	85・86	ワンピース単元のまとめ リマインド⑧
27・28	ブラウスのバリエーション2型 1/2縮図	87・88	2年ブレタシャツに向けて 台襟、ヨーク、剣ボロの理解
29・30	オリジナルブラウス デザイン検討、仕様書作成	89・90	様々な部分仕様見本の作成
31・32	〃 製図		
33・34	〃 トワール組 地直し・トレース		
35・36	〃 トワール組 半身組み立て・チェック		
37・38	〃 パターン修正、抜き出し		
39・40	〃 縫い代付け リマインド④		
41・42	ジャケット 4面体・テラードカラー 1/2縮図		
43・44	ジャケット 3面体・二枚袖 1/2縮図		
45・46	ポケット紙模型組立て（両玉縁雨蓋、パッチ、箱）		
47・48	ジャケットのバリエーション1型 1/2縮図		
49・50	オリジナルデザイン 製図（標準サイズ）		
51・52	〃 トワール組 地直し・トレース		
53・54	〃 トワール組 半身組み立て・チェック		
55・56	〃 パターン修正、抜き出し		
57・58	リマインド⑤		
59・60	まとめ		

【成績評価方法】

提出物評価70% テスト30%

【教科書・参考書】

上田安子『立体式洋裁』服飾手帖社、『パターンメイキングⅠ①.②』服飾手帖社、
『紳士服製図・型紙の作り方』 配布プリント

【教材・教具】

筆記用具

筆記用具、製図用具一式（原型、実寸割り出し尺、1/2縮尺、三角定規、コンパス、分度器、トレーシングペーパー、マジヤー等）

製図ノート、ケント紙、模造紙、動画資料

科目名	ファッションドローイングⅠ	整理番号			
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年		
コース	ファッションクリエイターコース		昼間		
学年	1年	授業形態	講義	30 %	実習 70 %
時間数	60	作成者	立嶋滋樹		
【科目の到達目標】					
デザイン画などのビジュアルツールで他者とのコミュニケーションをはかれるようになる。					
【科目の概要】					
ファッションクリエイターが他者とイメージをやり取りする為のデザイン画(視覚化)を製作するための、絵画的な基礎(理論・技術)の習得・応用を目的とする。					
【授業計画】					
90分/コマ		前期	後期		
1	オリエンテーション(デザイン画の目的)	16	デザイン画選手権 制作②		
2	右脳で描く(記号的認識の排除)	17	生地・素材の表現① (デニム素材)		
3	人物クロッキー・線の種類(多様な線)	18	生地・素材の表現②		
4	比率・プロポーションアナライズ・直立ポーズ	19	生地・素材の表現③		
5	比率・プロポーションアナライズ・片足ポーズ	20	パーツ・金属の表現①		
6	人物クロッキー・骨格と重心	21	柄を描く		
7	ヌードボディの着色	22	メンズデザイン		
8	ヌードボディーへの着装①	23	オリジナルデザイン画		
9	ヌードボディーへの着装②	24	デザイン画によるコミュニケーション「ブック」		
10	服のディテール(ドレープ・プリーツ・ギャザー)	25	「ブック」製作 マケット制作の意味		
11	顔のプロポーションとディテール	26	「ブック」製作 スケジュール管理について		
12	身体のディテール(手・足・脚等)①	27	「ブック」製作 材料の選択について		
13	身体のディテール(手・足・脚等)②	28	「ブック」プレゼンテーション(発表)前半		
14	デザイン画選手権準備・情報の集め方	29	「ブック」プレゼンテーション(発表)前半		
15	デザイン画選手権 制作①	30	学期末テスト		
		学期末テスト			
【成績評価方法】					
授業内での提出物(半期5～7点)の評価と、学期末テストの合計					
【教科書・参考書】					
『F・クリエイション・ドローイング』 立嶋滋樹 服飾手帳社					
【教材・教具】					
スケッチブック・クロッキーノート・ケント紙・鉛筆類など描画材・デザインガッシュなどの絵の具類 ファッション雑誌など					

科目名	ファッションデザイン論Ⅰ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ファッションクリエイターコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 60 % 実習 40 %
時間数	60	作成者	小西祐司

【科目の到達目標】

ファッションデザインを考えるときに、過去の衣服の変遷や民族による衣服の違いを知ることは必須である。本科目ではこれらについての知識を修得し、「自分で調べ、考え、まとめる」ことをとおしてオリジナルデザインを制作するための基礎を養成することを目標とする。

【科目の概要】

ファッションデザインの変遷と、民族・習慣等による衣服のデザインについて理解を深めるための講義と演習
現在、流通している衣服や歴史上の衣服のファッションデザインを整理・理解し、オリジナルデザイン画を制作する。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1	「ファッションデザインのもと」1 エレガントとスポーティ(1)	16	ジャケットのデザイン2
2	エレガントとスポーティ(2)	17	ジャケットのデザイン3
3	「ファッションデザインのもと」2 モダンとフオークロア(1)	18	コートのデザイン1
4	モダンとフオークロア(2)	19	コートのデザイン2
5	スカートのデザイン1	20	コートのデザイン3
6	スカートのデザイン2	21	フットウェアのデザイン1
7	スカートのデザイン3	22	フットウェアのデザイン2
8	パンツのデザイン1	23	フットウェアのデザイン3
9	パンツのデザイン2	24	アクセサリー 帽子のデザイン
10	シャツ・ブラウスのデザイン1	25	ジャンパーのデザイン1
11	シャツ・ブラウスのデザイン2	26	ジャンパーのデザイン2
12	シャツ・ブラウスのデザイン3	27	オリジナルデザイン1
13	ジャケットのデザイン1	28	オリジナルデザイン2
14	上田学園コレクションのデザイン	29	オリジナルデザイン3
15	上田学園コレクションのデザイン	30	まとめ

【成績評価方法】

課題評価点60%、期末試験30%、平常点10%を100点満点で評価する。

【教科書・参考書】

高村是州『スタイリング・ブック』グラフィック社、文化出版局『ファッション辞典』
WWDジャパン『WWD』

【教材・教具】

筆記用具、のり、はさみ、A4判ノート、コピックスマルチライナー、コピックスケッチ、ガッシュ着彩の用意

科目名	服飾素材論Ⅰ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	後期
コース	ファッションクリエイターコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 100 % 実習 %
時間数	30	作成者	河本 育子

【科目の到達目標】

ターゲットのニーズに応じた素材提案ができる人材の育成を目指す。
 アパレル素材についての基礎知識を修得し、その代表的な布地の特性を理解する。

【科目の概要】

多様化するニーズ、マーケットやチャネルの変化の中にあっても、材料となる素材を抜きにファッションを語る事はできない。
 本科目では、講義によりアパレル素材の基礎知識を体系的に修得。また教科書等の実物サンプルを通して、布地特性の理解を深め、ターゲットに応じた素材選びを学んでいく。

【授業計画】

90分/コマ

- 1 オリエンテーション
ファッションと素材の関連性について
- 2 素材とは？(繊維・糸・布地)
- 3 生地の種類(織物・編物)について
- 4 ・繊維の種類について
天然繊維・化学繊維
- 5 繊維の特性
- 6 ・天然繊維(1)・植物繊維―綿
代表的な綿織物
- 7 ・天然繊維(2)・植物繊維―麻
代表的な麻織物
- 8 ・天然繊維(3)・動物繊維―毛
- 9 代表的な毛織物
- 10 ・天然繊維(4)・動物繊維―絹
- 11 代表的な絹織物
- 12 生地の加工・色・パターン(柄)について
- 13 まとめ
- 14 総復習(テスト傾向と対策)
- 15 総合テスト

【成績評価方法】

提出物評価40% テスト50% 授業態度10%

【教科書・参考書】

・成田典子、『テキスタイル用語辞典』,株式会社テキスタイル・ツリー,2012年
 ・田中道一、『生地の事典』,株式会社みずしま加工, 2013年

【教材・教具】

・筆記用具

科目名	ファッションビジネス論Ⅰ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	後期
コース	ファッションクリエイターコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 60 % 実習 40 %
時間数	30	作成者	松下絢子

【科目の到達目標】

ファッションビジネスの基礎知識と社会人に必要なコミュニケーション能力を講義と演習(グループディスカッション・リサーチ)により修得し、ファッションマーケットの情報収集力・分析力を身につける。市場変化のポイントを発見し、今後のファッションビジネスについて自らの意見を持てるようになる。

【科目の概要】

近年、eコマースの拡大などにより、ファッション商品の販売方法は大きく変化している。

本授業では、クリエイションに関わる者にとっても必要となるファッションビジネスの基礎知識を学び、業界の基本的な仕組みを理解する。

さらに、業界誌や業界新聞を活用したりリサーチおよびグループディスカッションを通して、変化する市場動向を把握し、ファッションビジネスを多角的に捉える力を修得する。

【授業計画】 90分/コマ

- 1 ファッションビジネスとは
- 2 ファッション商品の流通
- 3 ファッションビジネスのサイクルと職種
- 4 ファッションビジネス市場Ⅰ 研究
- 5 ファッションビジネス市場Ⅰ 発表
- 6 ファッション消費者
- 7 ファッション小売業Ⅰ
- 8 ファッション小売業Ⅱ
- 9 ファッションビジネス市場Ⅱ 研究
- 10 ファッションビジネス市場Ⅱ 発表
- 11 アパレル産業Ⅰ
- 12 アパレル産業Ⅱ
- 13 ファッションマーケティング
- 14 ファッションマーチャンダイジング
- 15 期末試験

【成績評価方法】

課題 60% 期末試験 30% 授業態度 10%

【教科書・参考書】

「ファッションビジネス3級新版」一般社団法人 日本ファッション教育振興協会

WWD、織研新聞、日経新聞

【教材・教具】

A4ファイル、ノート、筆記用具

科目名	クリエイティブデザイン	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	前期
コース	ファッションクリエイターコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 40 % 実習 60 %
時間数	30	作成者	桑原 守

【科目の到達目標】

インスピレーションソースの獲得からイメージ表現・デザインング・作品製作までできるを目標にする。

【科目の概要】

クリエイティブなデザイン表現ができるようになるために、古着のリメイクやバッグのデコレーション、ファッションスタイリングを通してインスピレーションの引き出し方やイメージマップの製作、デザイン画から作品製作までを学ぶ。

【授業計画】 90分/コマ

- 1 オリエンテーション
- 2 アプリを使ったデザインidea集め
- 3 コンセプトの設定とデザイン画を描く
- 4 リメイク実習
- 5 リメイク実習
- 6 リメイク実習
- 7 リメイク実習
- 8 リメイク実習
- 9 プレタポルテコレクションでの課題発表
- 10 感想会
- 11 ムードボード制作
- 12 デザイン画
- 13 データ化してアプリで編集(ポートフォリオ)
- 14 プレゼンテーションと総評
- 15 テスト

【成績評価方法】

課題評価60% 試験評価30% 授業研究態度10%

【教科書・参考書】

【教材・教具】

科目名	ファッショントレンド研究	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	前期
コース	ファッションクリエイターコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 70% 実習 30%
時間数	14	作成者	林 和子

【科目の到達目標】

チャレンジ精神をもって常に市場ニーズを先取りし、新しい価値と文化を創造しつつ、時代の変化に挑戦し続ける力を身につけることを目標とする。デザイン・プロセスとリサーチ・プロセスの関係性を掴み、両者が切っても切れない関係性であることを理解する。

【科目の概要】

自身のアイデンティティを築くには、基本的なリサーチが不可欠であることを解説。リサーチとは、どのように進めるべきか、何に役立つのか、なぜ行うのか、今のコレクションから意図を紐解きながら、独創性あふれる現代のビジュアルを意識させる。

【授業計画】

90分/コマ

- 1 授業概要 ファッション業界、用語のA to Z
- 2 コレクションSSTrend情報
- 3 コレクションAWTrend情報
- 4 アイデアの出し方
- 5 アイデアからデザインへ
- 6 コレクションから市場へのトレンドの流れ①
- 7 コレクションから市場へのトレンドの流れ②

【成績評価方法】

課題90% 授業態度10%

【教科書・参考書】

ファッション週刊誌WWDジャパン

Robert Leach『FASHION DESIGN RESOURCE』株式会社ビー・エヌ・エヌ新社2013年

【教材・教具】

筆記用具 専用ノート 参考プリント 画材

科目名	ファッションデザイン演習	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	後期
コース	ファッションクリエイターコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 70 % 実習 30 %
時間数	14	作成者	林和子

【科目の到達目標】

チャレンジ精神をもって常に市場ニーズを先取りし、新しい価値と文化を創造しつつ、時代の変化に挑戦し続ける力を身につけることを目標とする。デザイン・プロセスとリサーチ・プロセスの関係性を掴み、両者が切っても切れない関係性であることを理解する。

【科目の概要】

前期のファッショントレンド研究で身に着けたリサーチスキルを駆使してオリジナルブランドの企画を行う。世界情勢やトレンドを理解したうえで自身のアイデンティティに基づいたブランド企画の流れを学ぶ。

【授業計画】

90分/コマ

- 1 授業概要
- 2 コンセプト解説
- 3 ターゲット設定
- 4 ムードボード作成
- 5 デザイン展開①
- 6 デザイン展開②
- 7 プレゼンテーション

【成績評価方法】

提出物評価60% プレゼンテーション30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

・ファッション週刊誌WWDジャパン
・WGSN

【教材・教具】

筆記用具 専用ノート 参考プリント

科目名	色彩構成	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	前期
コース	ファッションクリエイターコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	30	作成者	杉山佳美

【科目の到達目標】

色彩の基本理解と課題制作を通して創作の視点と発想力を高める。
色彩の知識と感覚(感性)を服飾に反映させる。

【科目の概要】

ファッション分野に限らず色彩は重要であり、色を主観ではなく客観的に分析できるための授業を行う。
テキスト「デザインの色彩」の基礎学習と絵具(デザインガッシュ)で課題制作を行なう。
授業前半に配色技術を習得して、後半のイメージ配色では各自の独創性を表現する。

【授業計画 90分/コマ 前期】

- 1 授業ガイダンス デザインにおける色彩の必要性 講義
- 2 色の三原色から色相作り・カラーカードの制作
- 3 【課題1】 対比の配色の制作
- 4 【課題2】 2体のコスチューム・ポーズのデザイン・明度・彩度対比の制作
- 5 2体のコスチューム・ポーズのデザイン・明度・彩度対比の制作
- 6 【課題3】 イメージとトーン of the 制作①マップ製作
・ロマンティック・フェミニン／クラシック・ベーシック／スポーティ・フォークロア
- 7 イメージとトーン of the 制作①着色
- 8 【課題4】 イメージとトーン of the 制作②マップ製作
・自由テーマ
- 9 イメージとトーン of the 制作②着色
- 10 【課題5】 イメージとトーン of the 制作③マップ製作
・自由テーマ
- 11 イメージとトーン of the 制作③着色
- 12 【課題6】 ポスター製作 下描き
- 13 ポスター製作 着色
- 14 ポスター製作 着色
- 15 仕上げ・復習

テスト期間 テスト

【成績評価方法】

課題 60% 試験 30% 授業態度 10%

【教科書・参考書】

中田満雄・北畠耀・細野尚志『デザインの色彩』財団法人日本色彩研究所 2011年

【教材・教具】

デザインセット(デザインガッシュ絵具／パレット／筆／筆洗)
スケッチブック、配色カード、定規、雲形定規、コンパス等

科目名	立体構成	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	後期
コース	ファッションクリエイターコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	30	作成者	杉山佳美
【科目の到達目標】 服は造形物であるという概念をもち、山折り・谷折りの基本と応用パターンを服飾に展開する。 制作過程を通して形をつくるための方法論と技術を習得する。			
【科目の概要】 ファッションは時代を象徴しているが、その構成原理を理解し、発想力を高める授業を行う。 主にケント紙を素材にした立体の基本と応用の課題制作を行い、造形の美しさを表現する。			
【授業計画】 90分/コマ 後期			
1	【課題1】 直線プリーツ・山折り・谷折りの展開		
2	【課題2】曲線を使った立体の制作 本体作成		
3	曲線を使った立体の制作 ふた作成		
4	【課題3】立体折りをを使ったレリーフの制作		
5	立体折りをを使ったレリーフの制作		
6	立体折りをを使ったレリーフの制作 提出		
7	【課題4】 折りのバリエーション 7種		
8	折りのバリエーション 7種		
9	折りのバリエーション 7種		
10	折りのバリエーション 7種 提出		
11	【課題5・6】ボディと衣装の制作 : ボディ製作		
12	ボディと衣装の制作 アイデア出し		
13	ボディと衣装の制作 衣装製作 ①		
14	ボディと衣装の制作 衣装製作 ②		
15	ボディと衣装の制作 衣装製作 仕上げ 提出		
試験期間 テスト			
【成績評価方法】 課題作品評価 60 % 期末試験 30 % 授業態度 10%			
【教科書・参考書】 資料プリント『美の構成学・バウハウスからフラクタルまで』三井秀樹 著 中公新書 2011年(第10版) 資料プリント『立体ふしぎ折り紙』三谷 純 著 二見書房 2011年1月			
【教材・教具】 ケント紙、. カッターナイフ、定規、コンパス、セロテープ、カッティングマット、接着剤 クリップ トワール など			

科目名	クロッキー	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	後期
コース	ファッションクリエイターコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 10 % 実習 90%
時間数	30	作成者	山本廣道

【科目の到達目標】

ファッションデザインに必要なイメージスケッチ、デザイン画制作の為の絵画技術と知識の理解、習得。加えて、観察力の向上を目指す。

【科目の概要】

対象物を観察し自ら手を動かして表現することを通じ、オリジナルな表現のための基本的な技術を習得する。交替で学生モデル、プロモデル等を描く。

【授業計画】 90分/コマ

- 1 線の引き方
- 2 プロポーションと頭身割
- 3 骨格、筋肉と、重心
- 4 遠近法
- 5 正中線
- 6 量感と回り込み
- 7 コンテで描く1
- 8 コンテで描く2
- 9 筆で描く1
- 10 筆で描く2
- 11 大きなクロッキー
- 12 細部のクロッキー、顔、髪、手
- 13 アングル、俯瞰と仰瞰
- 14 動きのあるポーズ 学生自身がモデル
- 15 動きのあるポーズ 学生自身がモデル

試験期間 モデルを招集しヌードクロッキーを行う(試験)

【成績評価方法】

クロッキー課題90%、授業態度(出席率等)10%。以上を指導要項の認定に基づき評価。成績の総課題数は5で共通させる

『クリエイションドローイング』立嶋滋樹、『脳の右側で描け』ベティ エドワーズ (著)エルテ出版; 第3版

【教材・教具】

クロッキー帳、鉛筆、筆ペン、コンテ、マーカー、色鉛筆